

中学校生徒会リーダー研修会

～ジェンダー・ギャップの視点から一人ひとりのライフデザインを考える～

ジェンダーとは？

生物学的な性差ではなく、社会的・文化的につくられる性差のこと

「男らしい」「女らしい」など社会がつくりだしたイメージなどを言います。



8月22日（月）、豊岡市立9中学校の生徒会のリーダーによる「豊岡市中学校生徒会リーダー研修会」をオンライン形式で開催しました。

今年度のテーマは「未来を描く！一人ひとりのライフデザイン」。生徒たちは3～4人のグループに分かれ、約3時間のワークショップを通して、自分たちの思いや意見、考えを交流し、ジェンダーへの正しい理解を深めました。また、先生たちも参加し、普段の学級経営や行事等の運営などにおける気づきや振り返りができる場となりました。

～生徒たちの意見から～

問1. 男性だから、女性だから、得したこと、損したこと

- 行事の準備などでは、男子が重い物を運ぶことが多い。
- 体力テストの持久走では、女子のほうが、距離が短い。
- 男子のほうが、厳しく言われたり、叱られやすかったりする。
- 秋祭りのだんじりは男性しか押せない。
- レディファーストがある。



各校からオンラインで参加

問2. 事前課題「学校ごとの男女別人数調べ」を共有し、何を考えるか

生徒会役員数



中学校教員数



中学校PTA役員数



○ 生徒会役員は女性の割合が高いが、教員・PTA役員は男性の割合が高い。

(生徒会調べ)

○ 男女の偏りがなく、いろいろな視点から意見が出た方がいい。

○ 中学校教員は男性が多いから、女子が相談しにくいときがある。

問3. 男性、女性の役割・イメージ

男性：力仕事・家庭を支える・体育会系

女性：家事・子どもの世話・文化系

○ 年配の人に男性が上という思いがある。

○ 男性が育休をとりにくい。

○ 学校との連絡は、母親が多い。

○ 少しずつ女性の活躍の場が増えている。



オンラインでグループ討議

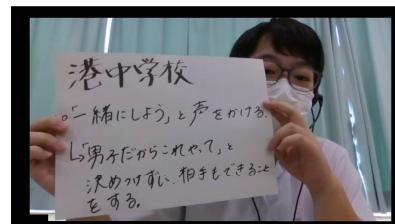
問4. 明日からできる取組

○ 性別にとらわれず、一人ひとりの能力に合わせた役割や仕事をする。

○ 「男・女だから」の考えを持たない。学校内の男女格差をなくす。

○ 男女で家事分担。男女の壁をなくす。

○ 今回の研修会について生徒会からの情報発信をする。



学校を良くしていこうという意見

～ 参加した校長先生より～

- 他校の生徒会と交流し、ジェンダー・ギャップについて考えたことは、生徒も先生も大きな刺激となった。
- 今後、生徒会を中心に制服・頭髪等の校則見直しを進めていく中で、ジェンダーの視点を大切にさせていく。
- 活発かつ柔軟な意見交換ができていた。

SUSTAINABLE GOALS
DEVELOPMENT



持続可能な開発目標
17のゴール その5

「男だから」「女だから」のように、ジェンダーにとらわれるのではなく、それぞれがどう生きたいかを考える